



学校だより

2月号

七 葛 西

令和7年1月31日
江戸川区立第七葛西小学校
校長 山崎 美佐子

今年度の教育活動を振り返って ～令和6年度学校関係者評価アンケート結果～

副校長 大沢一郎

2学期末に令和6年度学校関係者評価アンケートを実施しました。その結果と考察をまとめましたのでご報告いたします。

回収率は、89.4%でした。たくさんの方々にご回答をいただき、心より感謝を申し上げます。各項目の数値やいただいたご意見をもとに、各担当で反省と検討をして、次年度の教育活動がさらに改善できるよう努めてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

	学習指導・学習環境	A	B	C	D	E
		あてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	学習用タブレットを日常的に活用した学習活動が行われている。	41%	44%	8%	3%	4%
2	児童の思考力・判断力・表現力を育む授業、個々の能力や特性に応じた学習活動が行われている。	36%	47%	6%	1%	10%
3	誰一人取り残さない確かな学力向上への取り組みが行われている。	31%	44%	8%	2%	16%
4	教室環境を整えて学習を行っている。	44%	38%	3%	0%	15%

◇項目1

全ての学級においてタブレット端末を用いた授業を行っています。昨年度導入された「ミライシード」は、解答をすると即時に採点する機能があり、反復練習に大変効果的です。早く作業が終わった児童が自主的に学習する姿が見られるようになり、習慣化されてきました。また、「オクリンク」を用いて画面上で他児童と情報交換したり、PowerPoint や Word を用いて発表資料作成をしたりと、学習活動の活性化にも役立っています。その結果もあって、A・Bを合わせた肯定的評価は約85%と昨年度よりさらに上昇しました。しかし、長時間使用による健康面の心配、情報モラルの育成などの課題もあります。これらの課題を改善できるよう、保護者の皆様と連携して改善に取り組んでいきたいと思っております。

◇項目2、3、4

今年度は、区の教育課題実践推進校の指定を受け、「どの子にも分かる、できる授業の実現」を目指し、ユニバーサルデザイン化した問題解決型の授業実践に取り組みました。全ての授業において問題解決型の授業を展開するように改善し、児童に思考力と表現力を日常的に指導しています。また、学習環境のユニバーサルデザインを進めるとともに、特別支援教室や日本語指導、補習教室や放課後学習教室、九九や詩の暗唱検定などに力を入れ、個に応じた学習指導と児童の学習意欲の喚起に努めています。

保護者の皆様からも高評価をいただくことができ、昨年度より2ポイント上回りました。今後も誰一人取り残されることなく、全ての児童が「分かる、できる」と実感できる指導を心掛けていきます。

	特色ある教育の展開	A	B	C	D	E
5	特色ある教育活動が地域人材、保護者と連携して行われている。	54%	35%	3%	1%	6%
6	区の施策である「読書科」を充実させるために、図書館を活用した教育活動が行われている。	44%	45%	3%	0%	8%
7	ゲストティーチャーによる体験学習を取り入れている。	54%	36%	3%	1%	6%

◇項目 5、 7

本校の特色として、保護者、地域の方々の協力を得て教育活動を充実させていることが挙げられます。今年度も、米作り体験学習、海苔すき体験、和

風作り体験、ヤゴ救出作戦等々と、地域や保護者の皆様の力を借りた体験的学習が行えました。また、江戸川区教育委員会の支援によって、カヌー教室やなわとび実技講習会も行いました。他にも、パラスポーツ体験、手話体験、ポニー教室やモルモット体験教室など、福祉や生命に関する特別授業を実施しています。その結果、高評価を維持することができたと考えます。

しかし、時数制限が年々厳しくなっており、通常授業との兼ね合いが難しくなっています。内容の精選を行い、効果的な体験学習が維持できるように工夫をしていく必要があります。

◇項目 6

図書館の活用は、西葛西図書館と連携した本の団体貸し出しや、図書ボランティアの方々による読み聞かせ、パネルシアターなどを行いました。また、図書館を活用した区の「調べる学習コンクール」への応募は、今年度も2年生以上の全ての学年で行いました。質の高い有意義な読書科教育が行えているのは、図書ボランティアや地域の方々の多大なご協力のお陰です。来年度も児童たちのために引き続きご協力をお願いします。

	体力向上・健全育成の充実	A	B	C	D	E
8	児童の体力向上に向けた取組を行っている。	49%	42%	6%	0%	3%
9	児童、保護者が相談できる体制がある。	44%	45%	4%	1%	6%
10	体罰防止、いじめの未然防止に努力し、家庭と連携して対処している。	29%	37%	9%	2%	23%

◇項目 8

昨年度の体力テストの結果を受け、今年度は日常的に運動ができる機会を増やす工夫と努力をしました。全校運動遊びや長縄大会、なわとび大会、マラソン週間を昨年度と同様に実施するとともに、外遊びの奨励、体育授業での基礎体力を高める運動の実施、握力計の廊下設置などを行って、運動に親しむ機会を増やす試みをしました。しかし、体力テストでは、握力と短距離走、反復横跳び（俊敏性）が依然として全国平均を下回っています。肯定的評価90%以上という高い評価を得ていますが、引き続き日常的な運動習慣を身に付けられるよう指導を工夫していきます。

◇項目 9、 10

スクールカウンセラー・巡回心理士を始め、スクールソーシャルワーカーや児童相談所、また区の教育相談室などと連携しながら、児童が安心して登校できるように、そして、保護者が子育てに自信もって行えるように、全力で心のケアに努めていきます。

体罰・いじめについては、今年度も、学校長による人権啓発や心についての講話を実施し、児童の実態把握アンケート（年3回）、教職員の研修会（年3回）を実施し、いじめの早期発見・早期対応に取り組んできました。しかし、肯定的評価は70%に届かず、まだ改善の余地があります。毎週、生活指導夕会を開いて情報共有したり、いじめの情報を得た際には、即日にいじめ対策委員会を開いて対応策を検討したりと、「いじめは絶対に許さない」という認識をもって対応を続けています。今後も児童への指導を徹底し、児童も保護者も安心して通える、通わせられる学校になるよう努力していきます。

学校関係者評価へのご協力、ありがとうございました。今後とも本校の教育活動に対し、一層のご支援とご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

